資料１

２０２５年大阪・関西万博の準備の状況

内閣官房
国際博覧会推進本部事務局

大阪・関西万博

１．テーマ・サブテーマ・コンセプト

テーマ　：**いのち輝く未来社会のデザイン**
“Designing Future Society for Our Lives”
サブテーマ：**Saving Lives**（いのちを救う）
Empowering Lives（いのちに力を与える）
Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト：**People’s Living Lab**（未来社会の実験場）

２．基本事項

①開催場所
夢洲（ゆめしま）（大阪市臨海部）

②開催期間
2025年4月13日～10月13日
(184日間)

③来場者数(想定)
約2,820万人

名称

◆日本語（正式）：２０２５年日本国際博覧会
同　（略称）：大阪・関西万博

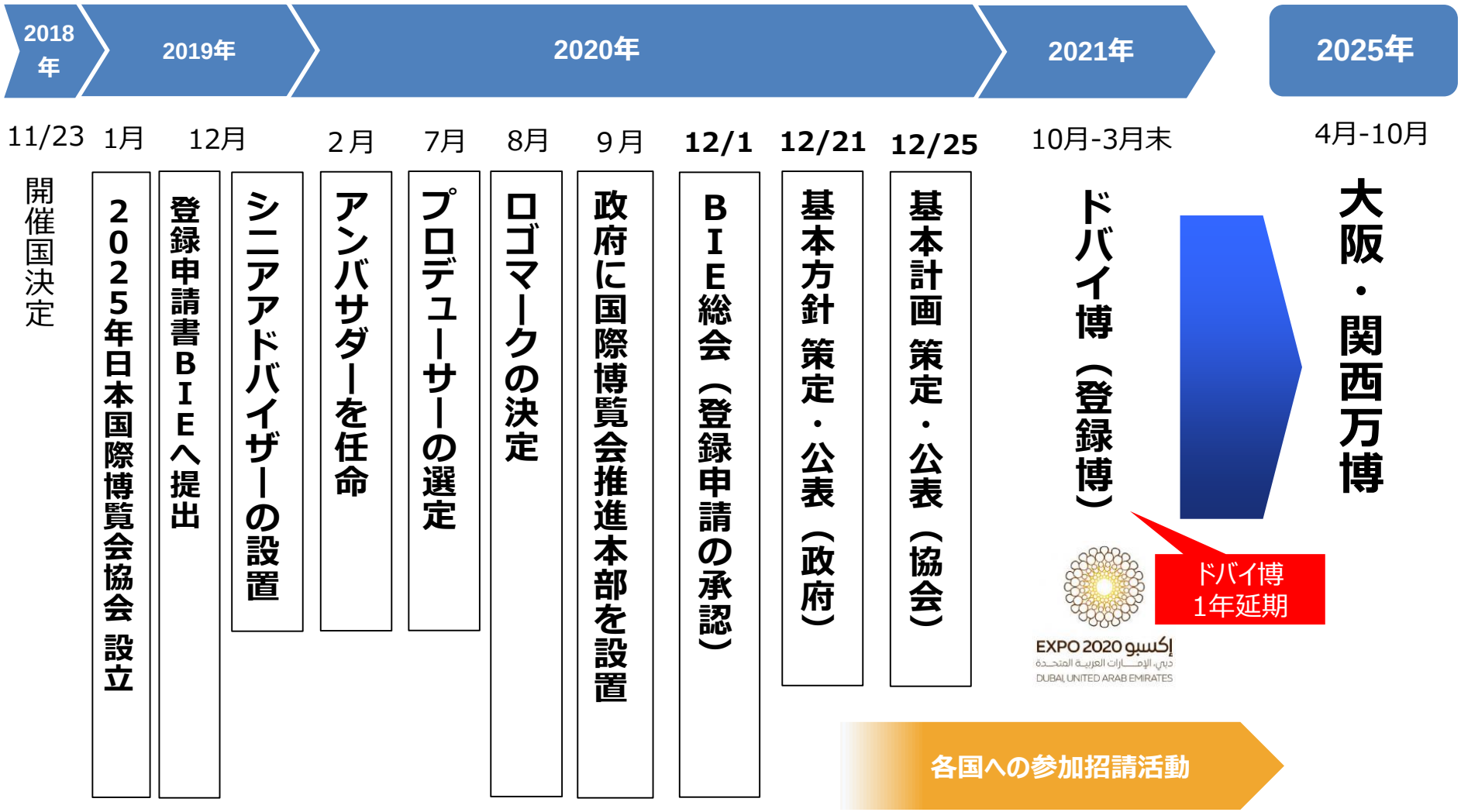
◆ 英　語：EXPO2025,OSAKA,KANSAI,JAPAN

夢洲（ゆめしま）鳥瞰図

◆会場面積は、155ヘクタール。
（会場中心部にパビリオンエリアを設け、
南側には水面、西側には緑地を配置。）

提供：2025年日本国際博覧会協会

大阪・関西万博関連のスケジュール



シニアアドバイザー

- 大阪・関西万博に、専門知識や技術、文化等の観点から助言を受けるため、2019年12月、2025年日本国際博覧会協会は13名のシニアアドバイザーを設置。2020年7月に2名追加。

安藤　忠雄	（建築家）
池坊　専好	（華道家元池坊次期家元）
大﨑　洋	（吉本興業ホールディングス株式会社代表取締役会長）
桂　文枝	（落語家）
河瀨　直美	（映画監督）
ロバート　キャンベル	（国文学研究資料館長）
コシノ ジュンコ	（デザイナー）
五神　真	（東京大学総長）
ウスビ・サコ	（京都精華大学学長）
千　宗室	（茶道裏千家家元）
西尾　章治郎	（大阪大学総長）
宮田　亮平	（文化庁長官）
山極　壽一	（前京都大学総長）
山崎　直子	（宇宙飛行士）
吉田　憲司	（国立民族学博物館長）

アンバサダー

「大阪・関西万博の顔」として万博の魅力を伝えるため、2020年2月、2025年日本国際博覧会協会は「2025年日本国際博覧会アンバサダー」を任命。

コブクロ
ミュージシャン

佐渡　裕
（さど　ゆたか）
指揮者

ダウンタウン
タレント

宝塚歌劇団

聖乃 あすか
（せいの　あすか）

風間　柚乃
（かざま　ゆの）

縣　　千
（あがた　せん）

極美　　慎
（きわみ　しん）

風色　日向
（かぜいろ　ひゅうが）

©宝塚歌劇団

松本　幸四郎
（まつもと　こうしろう）
歌舞伎役者

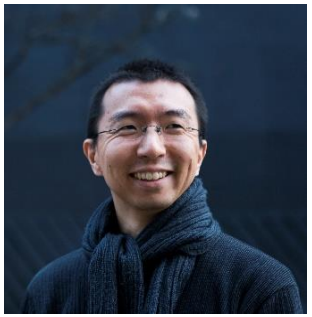
山中　伸弥
（やまなか　しんや）
京都大学iPS細胞研究所所長・教授

プロデューサー

大阪・関西万博の会場デザインプロデューサー、会場運営プロデューサー、テーマ事業プロデューサーを決定。（2020年7月に公表）

会場デザインプロデューサー

藤本 壮介　（建築家）



会場運営プロデューサー

石川　勝　（プランナー、プロデューサー）

テーマ事業プロデューサー

福岡 伸一
（生物学者、青山学院大学教授）

「いのちを知る」

河森 正治
（アニメーション監督、メカニックデザイナー）

「いのちを育む」

河瀬 直美
（映画監督）

© LESLIE KEE

「いのちを守る」

小山 薫堂
（放送作家）

「いのちをつむぐ」

石黒　浩
（大阪大学栄誉教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長）

「いのちを拡げる」

中島 さち子
（音楽家、数学研究者、STEAM教育家）

「いのちを高める」

落合 陽一
（メディアアーティスト）

©蜷川実花

「いのちを磨く」

宮田 裕章
（慶応義塾大学教授）

「いのちを響き合わせる」

大阪・関西万博ロゴマークの決定

2020年8月25日（火）にロゴマーク選考委員会が行われ、ロゴマークが決定。

OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO 2025

【グループ名】TEAM INARI（チーム イナリ）
【作者（代表者）】シマダ　タモツ
【生年】1965年
【職業】アートディレクター・グラフィックデザイナー

ロゴマーク選考委員会

【座長】安藤 忠雄

◎安藤 忠雄	建築家
荒木 飛呂彦	漫画家
河瀬 直美	映画監督
澤 穂希	元サッカー日本女子代表
根本 かおる	国際連合広報センター 所長
林 いづみ	弁護士(桜坂法律事務所)
原 研哉	グラフィックデザイナー
畠山　陽二郎	経済産業省 大臣官房 商務・サービス審議官
二宮 雅也	日本経済団体連合会 企業行動・SDGs委員長 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 会長
松井 冬子	日本画家
ヨシダナギ	フォトグラファー

メディアやSNS等で話題に

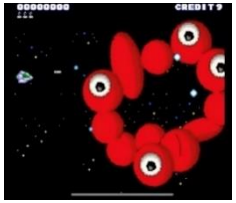
経産省twitter

経済産業省
@meti_NIPPON

【大阪・関西万博ロゴマーク　決定！】
皆様からお寄せいただいた5,894作品の中から、2025年大阪・関西万博のシンボルとなるロゴマークが決定しました。世界中から愛されるシンボルとなりますように😊

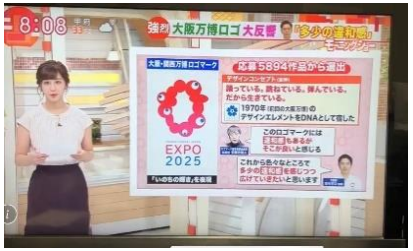
4.2万 件のリツイート　1.8万 件の引用ツイート
4.9万 件のいいね

パン



ゲーム

ネイル



羽鳥慎一　　モーニングショー

政府における司令塔機能・連携体制の強化

- 2020年9月16日に、国際博覧会担当大臣を新設。内閣総理大臣を本部長とする国際博覧会推進本部が発足。

（2020年10月１日、総理・官房長官参加のもと開催された国際博覧会推進本部事務局開所式での総理訓示）

「博覧会は、新型コロナウイルスを克服した後に日本の伝統や魅力、文化を海外に発信する最高の機会。政権の最優先課題であるデジタル化を通じ、新たな博覧会を目指してほしい。」

国際博覧会推進本部

本部長：内閣総理大臣

副本部長：官房長官
国際博覧会担当大臣

本部員：　全国務大臣

出典：首相官邸ホームページ
(https://www.kantei.go.jp/jp/99_suga/actions/202010/01kunji.html）

大阪・関西のみならず、日本全国で機運を醸成

- イベントへの参加など、様々な機会を活用し、全国に発信。
- また、TEAM EXPO 2025、ジュニアEXPOを実施し、多様な主体の参画を促進

イベントへの参加

1970年大阪万博50周年記念セレモニー

花博３０周年記念イベント

TEAM EXPO 2025

・大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に関連する活動を「共創チャレンジ」として博覧会協会に登録。
・「共創チャレンジ」の創出・支援をする法人、団体を「共創パートナー」として博覧会協会に登録。
・両者のマッチングを進めていく。

ジュニアEXPO

・こどもたちが大阪・関西万博に向けた取り組みに参加し、SDGsについて学ぶ教育プログラムを実施。
・大阪府内の小学校及び中学校において専用教材を用いた授業を実施するとともに、企業と子どもたちによる「アイデアミーティング」、子どもたちによるポスターの展示やプレゼンテーションを実施。

出典：内閣官房　国際博覧会推進本部ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ
(https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/expo_suisin_honbu/)

博覧会国際事務局（BIE）総会での登録申請承認

- 大阪・関西万博の登録承認を行うBIE総会は、2020年12月1日に新型コロナウイルスの状況を踏まえ、オンラインで開催され、登録申請が承認。
- 総会では、BIEの議長から「BIE旗」を授受。また、各国に対して、大阪・関西万博の成功に向けた決意を表明。
- 大阪・関西万博の登録承認を受け、諸外国の政府や国際機関に精力的に参加招請活動を行っている。

2020年12月1日：BIE総会での登録承認時の様子

出典：内閣官房　国際博覧会推進本部ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ
(https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/expo_suisin_honbu/)

精力的な参加招請活動の実施

※2021年３月１日時点

- 2020年12月１日の登録申請承認後、直ちに、我が国の在外公館に対し、外交ルートによる参加招請状の発出や、現地政府等への働きかけを指示。併せて、井上大臣による駐日大使への働きかけや、各国のカウンターパートとのウエブ会談などを実施。

・2020年12月２日：5か国1地域（ペルー、欧州連合、ベトナム、フランス、アラブ首長国連邦、南アフリカ）の駐日大使や臨時代理大使を招き、参加招請を実施。

・2020年12月10日：フィリピンのロペス貿易産業大臣とのウエブ会談を実施。

・2020年12月15日：5か国（アルゼンチン、ネパール、チリ、メキシコ、ニュージーランド）の駐日大使を招き、参加招請を実施。

駐日イギリス大使及び総領事、駐日オーストラリア大使と面会。

・2020年12月18日：5か国（サウジアラビア、パキスタン、スリランカ、インド、カザフスタン）の駐日大使等を招き、参加招請を実施。

・2021年１月15日 ：4か国（ロシア、コロンビア、ノルウェー、トルコ）の駐日大使等を招き、参加招請を実施。

・2021年１月22日 ：３か国（ハンガリー、イタリア、スウェーデン）の駐日大使等を招き、参加招請を実施。

・2021年１月29日 ：4か国（ギリシャ、フィンランド、ドイツ、オーストリア）の駐日大使を招き、参加招請を実施。

・2021年２月３日 ：ベルギーのデルマーニュ副首相兼経済・労働大臣とのウエブ会談を実施。

・2021年２月８日 ：オーストリアのシュラムベックデジタル化・経済立地大臣とのWEB会談を実施。

・2021年２月９日 ：4か国（カタール、アイルランド、スペイン、ルクセンブルク）の駐日大使を招き、参加招請を実施。

・2021年２月15日 ：ポルトガルのサントス・シルヴァ外務大臣とのウエブ会談を実施。

・2021年２月16日 ：チェコのペトシーチェク外務大臣とのウエブ会談を実施。

・2021年２月18日 ：カタールのアル・クワーリー商業・工業大臣とのウエブ会談を実施。

・2021年２月19日 ： ５か国（モロッコ、オマーン、デンマーク、ポーランド、ジャマイカ）の駐日大使を招き、参加招請を実施。

・2021年２月24日 ：4か国（クロアチア、ブラジル、インドネシア、ルーマニア）の駐日大使等を招き、参加招請を実施。

2020年 12月2日：5か国1地域の在京大使や臨時代理大使大臣への参加招請

2020年12月10日：フィリピンのロペス大臣とのウェブ会談

画像出典：内閣官房　国際博覧会推進本部ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/expo_suisin_honbu/）

基本方針（政府が策定）　※2020年12月21日に閣議決定

「基本方針」
　〇万博特措法に基づき、
　　国際博覧会推進本部（本部長：内閣総理大臣）が案を作成し、閣議決定
　　（2020年12月21日：第1回国際博覧会推進本部の開催及び、閣議決定）。

　＜全体構成＞
　　Ⅰ．はじめに　　Ⅱ．基本的な考え方　　Ⅲ．大阪・関西万博の円滑な準備及び運営

【参考】

「基本計画」 ※2020年12月25日に策定
　〇万博特措法に基づく「基本方針」とは別に、博覧会協会が定める、準備・運営に関する計画

- 会場デザイン、整備計画
- パビリオン整備、行催事に関する計画
- 会場運営計画
- 輸送計画
- 広報計画
- 情報通信計画
- 資金計画

「関連事業計画」
　〇万博特措法に基づく「基本方針」とは別に、国が定める、大阪・関西万博に関連する会場周辺インフラ整備等の事業計画（策定時期未定）

- 万博の円滑な開催を支え、また開催の効果を高めるとともに、開催後の大阪・関西の成長基盤となるよう、関係自治体等からの要望を踏まえ、会場周辺インフラの整備等を関連事業と位置付けるもの。

基本方針の概要　～基本的な考え方～

メインテーマ：　**いのち輝く未来社会のデザイン**

サブテーマ：　**Saving Lives（いのちを救う）**　**Empowering Lives（いのちに力を与える）**　**Connecting Lives（いのちをつなぐ）**

「未来社会の実験場」の整備

・大阪・関西万博を新たな技術やシステムを実証する場とする。

カーボンニュートラルを目指す上での大阪・関西万博の形

・ビヨンド・ゼロを可能とする日本の革新的な技術を通して世界に向けて脱炭素社会の在り方を示していく。

デジタル化等を駆使した「新たな国際博覧会の形」の提示

・最新の技術を活用した展示や世界中の人々の参加を可能とする方法等、デジタル技術の活用手法を追求する。

SDGsの達成とその先の社会ビジョンの構築

・2030年のSDGsの目標達成とその先（＋beyond）に貢献するため、持続可能な社会・経済システムをどう構築するか、世界の人々とソリューションを共創していく。

次世代に誇れる遺産の創出と継承・発展

・スマートなまちづくり等の有形の遺産に加え、新たな技術の実証結果等の無形の遺産を創出する。

日本の挑戦

・日本が強みをもつ様々な技術の開発・革新を加速させ、課題解決の姿をショーケース化して世界に発信する。

多様な文化、価値観の重なりの創出

・日本の伝統・文化を発信するとともに、国内外の多様な文化等が重なりあう文化創造の場とする。

復興への後押し 日本全体の祭典

・東日本大震災からの復興を成し遂げつつある姿を世界に発信する。

国際社会の中で輝く日本

・日本が先頭にたち、大阪・関西万博を通じて、ポストコロナの経済社会への転換等を目指し、変革・変容を国際社会と共創していく。

オールジャパンでの取組を推進

・科学技術・イノベーション、宇宙、海洋、健康・医療、クールジャパンなどの分野も含め、施策を総動員

・明確なガバナンスを確立し、施策を効率的・効果的に実行

政府　**博覧会協会**　**大阪府･大阪市、関西広域連合を中心とした地方公共団体**　**経済界**　**学界**　**団体**　**個人**

基本方針の概要　～大阪・関西万博の円滑な準備及び運営～

- 参加招請活動、参加支援、円滑な出入国手続などを通じた**各国・国際機関の参加・出展の確保**
- テロ対策、サイバーセキュリティ対策、防災・減災対策、感染症対策、暑さ対策、食中毒予防など、**セキュリティや安全安心の確保**
- 鉄道・道路・空路・海路などの交通インフラの強化など、**来場者や運営関係者の安全・円滑な輸送**
- 会場へのアクセス向上、地域の安全性の向上など、**会場の周辺インフラの整備等**
- ハード・ソフト両面から**ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備**
- 再生可能エネルギーや水素の利用、分散型エネルギー資源の活用、省エネルギー・環境関連技術の活用、３Ｒ促進など、**環境問題への対応**
- フィジカル空間とサイバー空間の融合など、**ICTシステムの構築及び活用**
- CIQ体制（税関・出入国管理・検疫体制）の人的・物的強化、多言語対応の強化など、**外国人来訪者の受入れのための整備**
- 国際会議や教育機関等の場の活用、様々な主体による大阪・関西万博と軌を一にした関連イベントなど、**あらゆる機会を通じた全国的な機運醸成**
- 寄附金付記念葉書・切手の発行、記念自動車ナンバープレートの発行、開催可能な公営競技協賛レース等の実施。

基本計画（博覧会協会が策定） ※2020年12月２５日に決定

- **大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめたマスタープラン**
- **今後、基本計画に基づき、参加国、国際機関への招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進**

開催概要

名　称	２０２５年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会　場	夢洲(ゆめしま)（大阪市臨海部）
開催期間	2025年4月13日（日曜日）～10月13日（月曜日）
来場者数 (想定)	約2,820万人

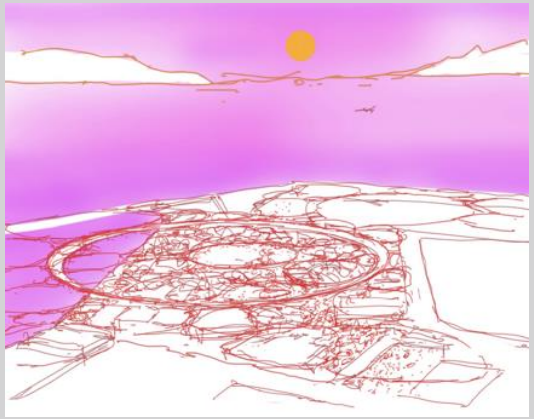
夢洲（ゆめしま）

大阪市内の臨海部に位置する人工島であり、来場者は瀬戸内海の美しい景観に接することができる。世界とつながる海と空に囲まれた万博として、ロケーションを生かした企画や発信を行っていく。

基本計画の概要　~会場デザイン~

ひとつの空

その「つながり」を象徴するものとして「ひとつの空」を提示。
この空は、世界中が見上げている空である。一つの空が世界をつなぐ。世界の人々が一つのものを共有している。多様でありながら、ひとつである。そんな「ひとつの空」をこの万博会場に据える。



海と空と地の万博

夢洲は海に囲まれた万博会場である。海の一部を囲いとって会場デザインに取り込む。来場者が見上げるひとつの空を切り取る。
そして地上では様々なパビリオンが様々な自然と共に「非中心・離散」に点在する。

明快な動線と多様な場を「非中心・離散」で配置

会場全体を巡る主動線は、わかりやすく、同時に様々な情景が生まれるように円環状にデザインしている。
主動線に沿って様々な大きさの広場が点在し、体験の抑揚が生まれる。広場ではイベント等のにぎわいが企画される。

基本計画の概要　~会場デザイン~

©2025年日本国際博覧会協会

基本計画の概要　~会場デザイン~

- **万博会場はパビリオンワールド、グリーンワールド、ウォーターワールドの3つのエリアで構成する。**

グリーンワールド

- 会場の西側の海に面した緑地エリア。
- 屋外イベント広場や交通ターミナル、エントランス広場等、大人数が滞留することのできる開けた空間とする。

パビリオンワールド

- パビリオン等の施設が集まるにぎわいのエリア。主動線としてリング状のメインストリートと離散的に大小の広場を設け、ここからすべてのパビリオンにアクセスできる。
- メインストリートの上部には大屋根（リング）を設置。
- メインストリートから離れた位置に樹木を配した広場（静けさの森）を作り、これにつながるようテーマ館が配置される。

ウォーターワールド

- 水景を活用した憩いのエリア。水辺に面して飲食施設を配置するとともに、水上イベントの舞台としても活用。

基本計画の概要　~テーマ事業~

- **地球的課題の解決において創造力は極めて重要であり、創造力を活かすことのできる社会の未来像を示すために、テーマ事業は、創造力を主体とした事業構築手法（クリエイティブ・ドリブン）によって進める。**

各界のトップランナー8人が自ら創り上げるテーマ事業推進

「いのちを知る」
福岡 伸一
生物学者、青山学院大学教授

- **生命系全体の中にある私たちのいのちの在り方を確認する。**

「いのちを育む」
河森 正治
アニメーション監督、
メカニックデザイナー

- **宇宙・海洋・大地に宿るあらゆるいのちのつながりを感じ、共に守り育てる。**

「いのちを守る」
河瀬 直美
映画監督

- **危機に瀕し、人類は「分断」を経験する。「わたし」の中の「あなた」を認めるいとなみの行方に、多様ないのちが、それぞれに、護られてゆく未来を描く。**

「いのちをつむぐ」
小山 薫堂
放送作家、脚本家

- **自然と文化、人と人とを紡ぐ「食べる」という行為の価値を考え、日本の食文化の根幹にある「いただきます」という精神を発信する。**

基本計画の概要　~テーマ事業~

各界のトップランナー8人が自ら創り上げるテーマ事業推進

「いのちを拡げる」
石黒　浩
大阪大学教授、
ATR石黒特別研究所客員所長

- **新たな科学技術で人や生物の機能や能力を拡張し、いのちを広げる可能性を探求する。**

「いのちを高める」
中島　さち子
音楽家、数学研究者、STEAM教育家

- **遊びや学び、スポーツや芸術を通して、生きる喜びや楽しさを感じ、ともにいのちを高めていく共創の場を創出する。**

「いのちを磨く」
落合 陽一
メディアアーティスト

- **自然と人工物、フィジカルとバーチャルの融和により、自然と調和する芸術の形を追求し、新たな未来の輝きを求める。**

「いのちを響き合わせる」
宮田 裕章
慶応義塾大学教授

- **個性あるいのちといのちを響き合わせ、「共鳴するいのち」を共に体験する中で、一人ひとりが輝くことのできる世界の模式図を描く。**

基本計画の概要　~未来社会ショーケース事業~

- 「Society 5.0実現型会場」の実現に向けて、現在検討を進めている具体的事業の例

カーボンニュートラル

画像：Adobe Stock

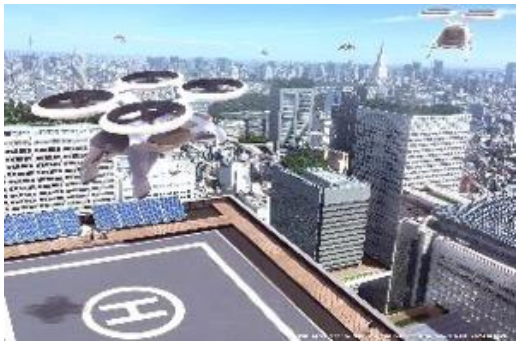
- カーボンニュートラル、エネルギーを最適化する技術、水素エネルギー技術のショーケースとしての導入

デジタル

画像：Adobe Stock

- リアルとバーチャルを融合した未来のエンターテインメントの実現
- デジタル技術を活用した入場制度、来場者サービスの実施

モビリティ



- 次世代モビリティとしての利活用が期待される空飛ぶクルマにより来場者に新たな移動体験を提供

今後、これらの事業を実現する具体的アイデア等を募りながら、
「Society 5.0実現型会場」の実装を目指す

今後の取組

- 大阪・関西万博の成功に向けて、以下の課題につき、各省・協会・地元自治体・経済界と連携して対応。

1．全国的な機運醸成

大阪・関西のみならず、日本全国での機運醸成を進める。

2．企業等の積極的な参画の促進

パビリオンの出展、「未来社会の実験場」に相応しい先端技術の実証事業への参画など、企業等の積極的な参画を促進することが必要。そのためにも、様々なアイディアを実現するための規制改革等も推進。

3．各国への参加招請活動の推進

直近のドバイ万博の開催が１年後ろ倒しされており、大阪・関西万博への各国の参加表明が遅れ、会場建設計画の日程が窮屈にならないよう、早期参加表明に向けた努力が必要。

4．大阪・関西万博の具体化に向けた検討

「基本方針」、「基本計画」を踏まえ、例えば空飛ぶクルマやカーボンニュートラルの実証等「未来社会の実験場」の具体化、インフラ等については「関連事業計画」の検討を進め、必要な予算の確保や規制改革等について、各省・協会・地元自治体・経済界で連携し、検討を進める。